



番場おどりも がんばります

全校練習に3回に渡りお越しくださり子どもたちに丁寧でご熱心なご指導をくださった『番場節保存会』の皆様。番場踊り練習の最終回12日(木)には、児童会長の森山紗菜さんより各学年からの「感謝の寄せ書き」を手渡すとともに、「ていね



いに番場おどりを教えてくださりありがとうございました。運動会でも楽しんでおどります。いっしょにおどってください」という言葉が述べられました。在籍する子どもたちの祖父母の方もおいでになる保存会の皆様でもあり

ます。地域の皆様に支えられての運動会に、あらためて感謝の思いです。当日は、保存会の皆様もお手本として輪の内側で一緒におどってくださいます。お家の皆様も、ぜひ地域の踊りの輪に、大勢加わってくださるようお願い申し上げます。



運動会 いよいよ明日に

週の前半は、まさに身の危険を感じるほどの暑さが続きました。先生方は子どもたちに校庭テントの下で確認事項を伝えて、演技や競技のみをグラウンドで行い、再びテントに逃げこませる(?)といったやむにやまれずの工夫をして、練習を重ねてきました。



11日(水)は朝から2時間目まで運動会総練習でした。休憩の回数を増やし、暑さ対策に気を配りながらの練習となりました。

水曜日夜半の雨は、秋の気配も連れてきてくれました。一気に風が涼しくなり、グラウンドでの運動会練習が「ふつう」にできるようになりました。

一方で、感染性の夏風邪（ヘルパンギーナ）が発症して、辛い思いをする子どもさんが出始めました。潜伏期間も3日から6日ということで、運動会当日まで、これ以上感染の広がりが無いことを願うばかりです。いろいろ心配な状況が続きながらではありますが、今のところお天気については心配なさそうです。

それぞれの種目練習もいよいよ大詰め。入退場も含めて通しの練習になってきたり、よりよくできるための修正を加えながらの繰り返し練習となったりしています。その一回一回に変化があることが、子どもたちの凄いところだと思います。行事をとおして子どもが育つ姿を目の当たりにしています。

これまで、子どもたちは本当にかんばって練習を続けてきました。指先からつま先まで気を配って動きを作る姿、灼熱のグラウンドを裸足で駆け回り、



小石が食い込む膝の痛みをこらえて友だちを背中にのせる姿。ゴールを目指して最後まで全力で疾走する姿、負けそうになっても力の限りを尽くして取り組む姿、声がかれてきても、なおも大きな声で友だちを励まし応援しようとする姿などなど。

当日は、勝っても負けても今までか**ん**ばってきたことを全て出し切ることができると、そして心に残る運動会であってほしいものです。お家の皆様の温かい、そして熱い声援、応援をぜひともお願いいたします。

